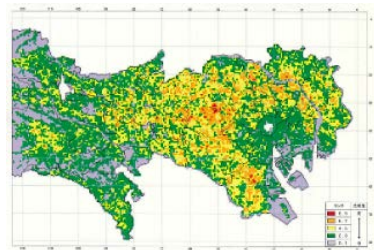


危険区域の指定

東京都及び当庁が延焼シミュレーションにより調査した危険区域判定結果に基づき、管轄署長が区域指定し計画を樹立

【計画作成上の重点事項】

- 地域に適合する活動方針
- 延焼範囲を予測した隊の部署位置、筒先配備
- 延焼予測範囲を超えた場合の消防警戒区域及び避難勧告
- 消防部隊・資器材の応援要請
- 消防水利の選定



地域の延焼危険度



街区延焼拡大イメージ

東京都の地震時における地域別延焼危険度測定（第8回）より引用

消防水利整備状況

平常時と震災時に区分した水利整備

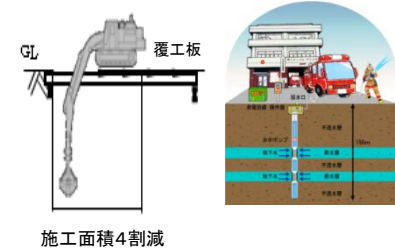
【平常時】国が定める「消防水利の基準」に基づき、整備

【震災時】独自に2つの基準を策定し、整備

- メッシュ整備基準 同時多発火災に対応するため、一辺250mの正方形の区画を単位とし、消火栓以外の40m³以上の水量を有する水利
- 巨大水利メッシュ整備基準 大規模市街地火災に対応するため、一辺750mの正方形の区画を単位として、防火水槽等の水利、大容量の水利並びに河川、海等の無限の水量を有する水利

＜取組事例＞

- 用地狭あいの対策(250mメッシュ)
水利不足地域の約半数が木造住宅密集地域にあり、狭あいな用地には、独自の用地狭あいの対応策で不足解消
- 深井戸(750mメッシュ)
防火水槽等の確保が困難、かつ必要とする水量が600m³以上不足し、地下湧水を活用できる地域に深井戸の整備



用地狭あいの対策
(施工面積縮小工法)

深井戸

強風下における消火活動要領

庁内の消防活動基準において活動要領を策定

- 強風時は風横側を原則とした筒先進入
- 放水銃、放水砲等の活用による高圧注水
- ヘルメット顔面保護板を使用した飛散物保護
- 風下側一帯の飛火警戒（飛火警戒隊・航空隊による警戒）
- 大量送水装置による河川等の無限水利の有効活用

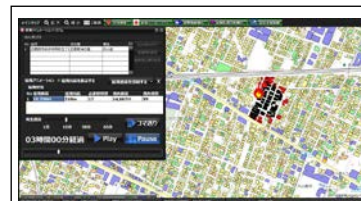


強風下における消防活動

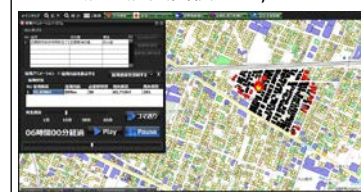


大量送水装置

延焼シミュレーションの活用



時間経過 3時間00分
延焼・焼失面積 14,667m²



時間経過 6時間00分
延焼・焼失面積 42,719m²

延焼シミュレーション結果例

【平常時】

- 出場計画樹立のための必要消防力の予測
- 震災時の水利整備計画として、巨大メッシュの整備水量の算定
- 震災時の火災出場計画（必要部隊数）の作成等

【震災時】

- 震災時の延焼阻止に必要な部隊数等の予測
- 区市町村災害対策本部への避難上必要な情報提供等

【その他】

- 防火防災訓練などの機会における都民への防災意識高揚等に活用